



学校だより

令和8年6月30日

No. 4 7月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

体験を通して学ぶ

校長 小澤 孝之

6月は台風が3つも関東に接近し、3日には、臨時休校の措置をとる事態にもなりました。また、雷雨によって、3、4年生の下校時刻を遅らせる対応をすることもありました。その際は、下校方法でご迷惑をおかけしました。また、対応について、ご理解をいただき、ありがとうございました。近年ではあまり聞かないこの時期の台風の多さと、偶然ですが新しい気象警報の発表もあり、気象について様々に考えさせられることになりました。本格的な台風シーズンはこれから先になります。学校でも情報収集に努めていきますので、今後ご理解・ご協力をいただければと思います。

さて、今年度も3か月が経ちましたが、今年度も多くの方に学校でお話をいただいたり、体験教室を開いていただいています。令和のはじめに新型コロナウイルス感染症に伴う休校措置などを経験し、他者とのつながりが希薄になり、学校の教育活動も学校内での活動が多くなっていました。本校でも昨年あたりから外での活動が増えました。子どもたちにとって、座学(座って学ぶ)だけでなく、体を動かすことで学んだり、経験したことをもとに考えを深めていったりすることが大切な学びになっています。また、担任をはじめとする教員からではなく、そのことについて専門的な知識をもった方からの話は、より深い知識を得たり、新たな刺激を受けたりすることにもつながります。子どもたちの学びにとって、有意義なものであることは間違いありません。



6月末に咲いたひまわり。
昨年の種が花開きました。

そこで次の課題になるのは、得た知識をどのように生かしていくか、ということです。学校での学習では、発表したり表現したりすることが当てはまりますが、それだけではなく、普段の行動の中で生かすということもあります。教科の知識が深まるのと同様、普段の生活場面でもそのようなことが見えることがあります。周囲の人たちがこの場面を逃さず、声をかけたり、称賛したりすることで子どもたちの知識が経験となり、定着していきます。それは、我々大人だけでなく、子ども同士でもできることです。

そこで次の課題になるのは、得た知識をどのように生かしていくか、ということです。学校での学習では、発表したり表現したりすることが当てはまりますが、それだけではなく、普段の行動の中で生かすということもあります。教科の知識が深まるのと同様、普段の生活場面でもそのようなことが見えることがあります。周囲の人たちがこの場面を逃さず、声をかけたり、称賛したりすることで子どもたちの知識が経験となり、定着していきます。それは、我々大人だけでなく、子ども同士でもできることです。

人と人のつながりができつつある今、お互いのことを理解し、協力し合える関係ができたらと思います。学校でも、学習を通して、人と人とのつながりを大切にしようと考えています。ぜひ、ご家庭でもご家族同士、また、お知り合いの方とのつながりを大切にしていってください。7、8月の夏休み、そのような機会が多くあり、一回り成長した子どもたちと休み明けに出会うのを楽しみにしています。